



十二月 (大) 師走

箕宿

(十月七日大雪の節より
月命丙子七赤金星の月
暗剣殺西の方)

旧 十月大
十一月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	月	ひのえ うま	九紫	歳末助け合い運動、映画の日、鳥根出雲大社神迎祭、鉄の記念日、エイズの日、とおかんや 旧十月大	十	先勝	あやぶ	心	神よし	6.32	13.01	12.29	5.47
2日	火	ひのと じ	八白		十一	友引	なる	尾		6.32	13.39	1.41	7.06
3日	水	つちのえさる	七赤	秩父夜祭、障害者週間、不成就日	十二	先負	おさん	箕	●	6.33	14.18	2.46	8.11
4日	木	つちのとり	六白	人権週間、一粒万倍日	十三	佛滅	ひらく	斗	十し	6.34	14.59	3.49	9.06
5日	金	かのえ いぬ	五黄	納めの水天宮、一粒万倍日	十四	大安	とづ	牛	大みょう	6.35	15.44	4.52	9.53
6日	土	かのと	四緑	○望二一時二七分、小田原秋葉権現火防祭、三隣亡	十五	赤口	たつ	女	大みょう	6.36	16.31	5.51	10.36
7日	日	みづのえね	三碧	大雪一四時〇四分、八せん始め、一粒万倍日	十六	先勝	たつ	虚	くゑ日	6.37	17.22	6.48	11.15
8日	月	みづのとうし	二黒	納めの薬師、成道会、こと納め、針供養	十七	友引	のぞく	危	天おん	6.38	18.15	7.40	11.51
9日	火	きのえとら	一白	京都了徳寺大根焚き、漱石忌、三隣亡	十八	先負	みつ	室	きこ	6.38	19.09	8.27	12.25
10日	水	きのと	九紫	世界人權デー、納めの金毘羅、大宮氷川神社大湯祭	十九	佛滅	たいら	壁	●	6.39	20.04	9.09	12.59
11日	木	ひのえ たつ	八白	旧えびす講、旧習文払い、不成就日	廿	大安	さだん	奎	大みょう	6.40	20.58	9.47	20.48
12日	金	ひのと	七赤		廿一	赤口	とる	婁	十し	6.41	21.52	10.22	21.33
13日	土	つちのえうま	六白	岡山最上稲荷火焚祭	廿二	先勝	やぶる	胃	ちいみ	6.41	22.46	10.55	22.28
14日	日	つちのびじ	五黄	○下弦二一時五一分、東京高輪泉岳寺義士祭	廿三	友引	あやぶ	昂	神よし	6.42	23.40	11.26	3.07
15日	月	かのえさる	四緑	年賀郵便特別扱い、東京世田谷ポロ市、庚申	廿四	先負	なる	畢	大みょう	6.43	24.34	12.09	4.00
16日	火	かのと	三碧		廿五	佛滅	おさん	觜	神よし	6.43	25.28	12.29	5.19
17日	水	みづのえいぬ	二黒	東京浅草観音歳の市、伊勢神宮月次祭、奈良春日大社若宮おん祭	廿六	大安	ひらく	参	月とく	6.44	26.22	13.02	6.44
18日	木	みづのとら	一白	納めの観音、八せん終り、一粒万倍日	廿七	赤口	とづ	井	ちう日	6.45	27.16	13.39	7.52
19日	金	きのえ	九紫	九屋陽通始め、天しや、甲子、一粒万倍日、不成就日	廿八	先勝	たつ	鬼	よろづ	6.45	28.10	14.19	8.47
20日	土	きのと	八白		廿九	友引	のぞく	柳	神よし	6.46	29.04	15.06	9.36
21日	日	ひのえとら	三碧	納めの大師、三隣亡	卅	先負	みつ	星	天おん	6.46	29.98	15.58	10.21
22日	月	ひのと	四緑	冬至八時〇三分、●朔一〇時三六分、ゆず湯 旧十一月小	朔	大安	たいら	張	●	6.47	30.92	16.45	11.04
23日	火	つちのえたつ	五黄	●天皇誕生日	二	赤口	さだん	翼	天おん	6.47	31.86	17.32	12.06
24日	水	つちのとら	六白		三	先勝	とる	軫	十し	6.48	32.80	18.19	12.28
25日	木	かのえ うま	七赤	クリスマス、イブ、納めの地蔵、己巳	四	友引	やぶる	角	ちいみ	6.48	33.74	19.07	13.10
26日	金	かのと	八白	官庁御用納め、不成就日	五	先負	あやぶ	亢	大みょう	6.49	34.68	19.21	13.55
27日	土	みづのえさる	九紫		六	佛滅	なる	氏	百事吉	6.49	35.62	20.16	14.46
28日	日	みづのとり	一白	納めの不動	七	大安	おさん	房	神よし	6.49	36.56	21.05	15.49
29日	月	きのえ いぬ	二黒	●上弦三時三一分	八	赤口	ひらく	心		6.49	37.50	21.25	16.36
30日	火	きのと	三碧	一粒万倍日	九	先勝	とづ	尾	ちう日	6.50	38.44	22.14	17.24
31日	水	ひのえ	四緑	年越し、大はらい、男鹿なまはげ、除夜の鐘、出羽三山松例祭、一粒万倍日	十	友引	たつ	箕		6.50	39.38	23.03	18.12

一年の締めくくりにあがり、年間を通じて最も短い月である。この月の別名として「師走」の呼称が通例になっているのは、やはり一般に師匠までも走り出す月、という人間味を伴った語感のせいであろうか。

年の最後の月として、各地でいろいろな行事や祭りがあがるが、だいたい納めや供養である。

今年一年間の喜び、反省等、それらを思い返し、整理すること、来る年への指針となし期待を持ち、そして自戒するべきものがあれば心に響くべきであろう。

【祭】歳暮とは元来年の暮のことであるが、日ごろ世話になっている人や親戚などへの贈り物がいつのころから「お歳暮」というならわしになった。

正月始めは、この月の八日か十三日から、正月を迎える準備をし始めることを

いう古い習慣で、すす払いから着手したものである。二十二日前後に二十四節氣の一つ「冬至」がある。この日北半球では最も日が短く、この日を境に日脚が延びるので、地方によりそれの行事を持つている。風邪をひきにくいといつて「ゆず湯」に入る習慣は全国的に知られている。二十三日は「天皇誕生日」である。

二十五日はクリスマスの降誕日、その前夜の「クリスマス・イブ」ともに、欧米では正月よりも盛大に祝う。わが国でもキリスト教とは関係なくツリーを飾ったり、プレゼントをし合ったりする家庭も多い。

新年を迎える飾り物は、三十日までにととのえるが、二十九日は苦節り、三十日は一夜飾りといつて嫌うので早目の準備を心掛けよ。

大晦日(おみそか)の夜は神棚にお灯明をあけたり、年越しそば(みそかそば)を食べたり、神社や寺院に参詣したりし、その土地土地によって独特の習慣を持つていたりする。